



旭北小学校 総合的な学習の時間 森林教室～秋田スギのおはなし

R3.9.2
THU

秋田市立旭北小学校5年生の皆さんから「秋田スギ」について詳しく知りたいと依頼を頂き、出前森林教室を行いました。教室では密になるので、廊下の広場に机を移動し、窓は全開にして、コロナ対策も行っています。



仁鮎水沢スギ植物群落保護林
の天然秋田杉。
ここにある「きみまち杉」の
樹高は58mにもなります。



秋田スギの特徴

秋田スギは多雪地である日本海側に生えるアシウスギというスギの変種であり、葉の形や伏状更新(枝が地面に付くとそこから根を生やす増え方)が出来ること等が特徴です。また、天然秋田スギは暗い林の中で長い年月をかけ育つため、年輪が詰まった太い木材がとれること、今は天然秋田スギの伐採はしていないので、人工の秋田スギの伐期を延ばし、大径で良質な木材を提供するポスト天然秋田杉についてのお話をしました。

事前に知りたいことについて質問をもらっていたのですが、みんなよく調べていて専門的な質問が多く、答えるのが難しかったです。



秋田スギの歴史

歴史の話では、秀吉が伏見城を建てる際、京都まで秋田スギを献上させたこと、江戸時代に秋田藩初代家老の渋江政光は「国の宝は山である」と山林立国を唱えるほど、スギが重要な資源だったことなどをお話ししました。

高度経済成長期にはいり、大径な秋田スギをオノで伐採する(藤里森林生態系保全センター提供)



実験～秋田スギの廊下は冬でもあたたかいの謎を解く！



密度が低く
冷たさが
伝わりにくい！

森林教室依頼の際、「秋田の自然」について発表した授業で、「秋田スギの廊下はあたたかい」との発表をした子がいたけれども、なぜだろうとみんなでふしぎに思ったという話を先生から聞きました。

それならと、今回は冷やしたスギと広葉樹材で出来たキューブを配り、二つの違いを体感してもらいました。木は種類によって詰まり具合(密度)が違います。冷たさの感じ方の違いはこの密度によるもの。木には色々な種類があり、密度によって、冷たさの伝わり具合や柔らかさ、重さなどが違うことを体感してもらいました。



スギ



その他広葉樹

スギと広葉樹のキューブを冷やして
感じ方の違いを体感してもらいました



秋田市立旭北小学校5年生の皆さんは、勉強熱心で1時間を予定していた森林教室は、みんなからの質問が止まらず、30分も延長してしまいました。最後まで聞いて頂き、どうもありがとうございました。

世界一密度の重い木「リグナムバイタ」と
世界一密度の軽い木「バルサ」の
←重さの違いにみんな驚いていました。

